

8月の夏休み、皆さまはいかがお過ごしだったでしょう？豪雨や土砂崩れ、驚くような災害もあって、地球の未来が気になる夏でもありました。

さて、9月2日の「日本の童話」原画展を皮切りに、ことば村今年後半の活動が始まりました。

★対訳教材「日本の童話」原画展が小諸高原美術館で開催！

9月2日～7日開催の初日に、ことば村メンバーや「日本の童話」の挿絵担当画家や朗読者などが高原美術館を訪れ、テープカットをしました。広い展示スペースに、色鮮やかな挿絵原画が並べられ、地元の新聞社などの取材もあり、「日本の童話」プロジェクトについて、またことば村全般について、たくさんのかたに知っていただく大変いい機会となりました。

★ことわざ学会共催「いろはかるたを楽しむ会」が開かれました。

9月23日清澄庭園・涼亭に25名の方々—上は80歳から下は8歳まで—が集まり、池に浮かぶお座敷で、涼しい風の吹きぬける中、カルタ遊びに興じました。「いろはかるた」が日本語の文字・発音の個性に基づいた独特の、世界に類のないカードであること、書かれたことわざを遊びながら知らず知らずに身につけていく文化であることを改めて知りました。8歳、10歳の子どもたちがすぐに覚えてどんどん取るのにもびっくり！

★「ことばのサロン」の予定をお知らせします。

9月「多元社会における ひと・ことば」

話題提供：松尾慎先生（東京女子大学教授：社会言語学 日本語教育 多元文化教育
対訳教材「日本の童話」制作プロジェクトのパートナーです）

日時：9月27日（土）午後2：00～4：30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎 471 教室

「日本の童話」制作のきっかけとなった太田市の母語教室の支援活動～台湾の日本語世代についてなど、幅広い調査研究・実践のお話を聞きます。

10月 出張ことばのサロン「多文化社会：神奈川いちよう団地祭り見学」

案内：安達真弓先生（東京大学）

日時：10月5日（日）

集合：小田急江ノ島線 高座渋谷駅改札口 9：45

別紙をご覧ください。おいしい料理を食べ、民族舞踊などを楽しもう！

11月「ファンタジックドキュメンタリー 万葉集の時代」

話題提供：小河原正巳氏（元NHKプロデューサー）

日時：11月15日（土）午後2：00～4：30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス教室（予定）

万葉集を愛するあまり、当時の人物が登場する朗読劇を制作・公演されている小河原氏から万葉集の魅力について聞きます。

★ホームページ「世界の文字」「ベラルーシことばだより」「フランス・リヨンだより」

会員の稲垣徹さん寄稿の「世界の文字」が毎月拡充中。ぜひお楽しみください。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先のことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

活動は順次サイトで報告いたします。

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届け中。申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>